

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/09/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0, 4.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20202506440401	科目番号 / Course code	25064404
科目ナンバリングコード / Numbering code	DNMC 11011_098		
授業科目名 / Course title	細胞生物学プラクシス / Praxis of Cell Biology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	伊藤 公成 / Kosei ITO, 中村 渉 / Wataru Nakamura, 片瀬 直樹 / Katase Naoki, 筑波 隆幸 / Tukuba Takayuki, 門脇 知子 / Kadowaki Tomoko, 内藤 真理子 / Naito Mariko, 根本 孝幸 / Nemoto Takayuki, 庄子 幹郎 / Shiyouji Mikio, 真鍋 義孝 / Manabe Yoshitaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	伊藤 公成 / Kosei ITO		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	伊藤 公成 / Kosei ITO, 中村 渉 / Wataru Nakamura, 片瀬 直樹 / Katase Naoki, 筑波 隆幸 / Tukuba Takayuki, 門脇 知子 / Kadowaki Tomoko, 内藤 真理子 / Naito Mariko, 根本 孝幸 / Nemoto Takayuki, 庄子 幹郎 / Shiyouji Mikio, 真鍋 義孝 / Manabe Yoshitaka		
科目分類 / Course Category	総合科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[歯学] 講義室 3 B, [歯学] P B L 室		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	伊藤 公成 / itok@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	A棟7階707号室		
担当教員TEL / Tel	095-819-7487 (内7487)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	12:00 ~ 13:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	基礎歯科医学を学ぶ上で基本となる細胞生物学について演習形式で学習し、理解を深める。		
授業到達目標 / Course goals	<p>一般目標GIO: 細胞生物学を中心に、大学で習得すべきライフサイエンスに関する基礎知識を身に付ける。</p> <p>個別行動目標SBOs:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞機能の基本を説明する。C-2-1), C-2-2), C-2-4) 2. 細胞構造の基本を説明する。C-2-3), C-2-4) 3. 組織の発生、個体機能の基本を説明する。C-3-2), E-3-1) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への積極的な参加状況、成果発表の良否及びレポートを総合的に判断し評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>【事前学習・発表準備】本授業ではアクティブラーニングを実践する。当日までにグループごとにテーマ (課題) について、教科書で学習し、文献あるいはWeb等で情報を収集して、当日教室で発表できるようにパワーポイントに内容をまとめて、発表練習をしておくこと。(4h)</p> <p>【事後学習】当日の発表に対する学生からの質問や教員からの指摘をもとにして、課題内容に関して再度知見を検索・整理し、さらに理解を深めること。(2h)</p>		
キーワード / Keywords	細胞生物学、分子生物学、生化学、分子遺伝学		
教科書・教材・参考書 / Materials	Essential 細胞生物学、中村桂子、松原謙一 監訳 (南江堂)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、各授業の担当教員または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	図書館を利用し、関連図書や引用文献を読み、理解を深めること。 発表や討論には積極的に参加すること。 質問等は講義終了後あるいは直接担当教員を訪ねてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
4/7	歯の系統発生学, 歯の比較解剖学 / 講義
4/14	歯の系統発生学, 歯の比較解剖学 / 発表
4/21	細胞の情報伝達, 細胞分裂 / 講義
4/28	細胞の情報伝達, 細胞分裂 / 発表
5/12	膜の構造および膜を通した輸送体 / 演習
5/19	膜の構造および膜を通した輸送体 / 発表
5/26	生化学に関連した時事問題, 社会問題を取り上げる / グル - プによる発表と質疑応答 課題内容と担当班はあらかじめ細胞生物学入門講義時と学務廊下掲示板により決定する。
6/2	生化学に関連した時事問題, 社会問題を取り上げる / グル - プによる発表と質疑応答 課題内容と担当班はあらかじめ細胞生物学入門講義時と学務廊下掲示板により決定する。
6/9	DNA, DNA からタンパク質へ / 演習
6/16	DNA, DNA からタンパク質へ / 発表
6/23	体内時計の神経科学 / 演習
6/30	体内時計の生理学 / 発表
7/7	細胞内オルガネラとその機能 / 演習
7/14	細胞内オルガネラとその機能 / 発表
7/21	正常細胞とがん細胞 / 発表

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/09/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20202506440601	科目番号 / Course code	25064406
科目ナンバリングコード / Numbering code	DNMC 11021_098		
授業科目名 / Course title	細胞生物学入門 / Essential Cell Biology 1		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	伊藤 公成 / Kosei ITO, 根本 孝幸 / Nemoto Takayuki, 庄子 幹郎 / Shiyouji Mikio, 根本 優子 / Ohara-Nemoto Yuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	伊藤 公成 / Kosei ITO		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	伊藤 公成 / Kosei ITO, 根本 孝幸 / Nemoto Takayuki, 庄子 幹郎 / Shiyouji Mikio, 根本 優子 / Ohara-Nemoto Yuko		
科目分類 / Course Category	総合科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	伊藤 公成 / itok@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	A棟7階707号室		
担当教員TEL / Tel	095-819-7487 (内7487)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	12:00 ~ 13:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	歯科医学を学ぶ上で基本となる細胞生物学について理解する。		
授業到達目標 / Course goals	<p>一般目標GIO: 細胞生物学を中心に、大学で習得すべきライフサイエンスに関する基礎知識を身に付ける。</p> <p>個別行動目標SBOs:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞機能の基本を理解する。C-1-1), C-1-2), C-2-1), C-2-2), C-2-3), C-2-4) 2. 細胞構造の基本を理解する。C-2-1), C-2-2), C-2-4) 3. 組織、個体機能の基本を理解する。C-3-2), C-3-3), C-3-4), C-5-1), C-5-2), C-5-3), C-5-6) 4. 生命科学の解析法の基本を理解するC-1-1), C-1-2), C-2-1), C-2-2) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験期間中に行う筆記試験の得点により評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>【予習】 授業予定内容である教科書 (Essential 細胞生物学) の該当部分 (各章の全体) をあらかじめ精読して、事前に授業内容を把握しておくこと。(2h)</p> <p>【復習】 教科書の該当部分の章末問題を各自で解き、授業内容に照らし合わせながら復習すること。(2h)</p>		
キーワード / Keywords	細胞、遺伝子、タンパク質		
教科書・教材・参考書 / Materials	Essential 細胞生物学 原書第4版、中村桂子、松原謙一 監訳 (南江堂)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、各授業の担当教員または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp 備考(URL) /Remarks(URL)
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	教科書に沿って進められるので、必ず予習をしておくこと。また、質問等は講義終了後あるいは直接担当教員の部屋を訪ねてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
4/6	生命の基本単位としての細胞について、研究対象としてのモデル生物について学ぶ。(1章)
4/13,4/20	細胞の化学成分: 生命体はすべて化学と物理学の法則に従う。細胞を構成する分子の化学とそれらの相互作用の基礎を学ぶ。(2章)
4/27,5/11	エネルギー, 触媒作用, 生合成: 生物におけるエネルギー変換に必須である酵素の触媒作用について学ぶ。(3章)
5/18,5/25	タンパク質の構造と機能: タンパク質の構造はアミノ酸配列によって決まることを理解し、個々のタンパク質の機能は構造と密接に関連することを学ぶ。(4章)
6/1,6/8	DNAと染色体, DNAの複製, 修復, 組替え: DNAと染色体の構造を理解する。またDNAの複製, 修復, 組換え機構を学ぶ。(5,6章)
6/15,6/22	DNAからタンパク質へ: DNA からタンパク質が作られる仕組みと遺伝情報の流れを理解する。(7章)
6/29,7/6	遺伝子発現の調節機構における転写因子の重要性について学ぶ。(8章)
7/13,7/20	遺伝子とゲノムの進化, 現在のライフサイエンスで使用される遺伝子解析手法について学ぶ。(9,10章)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2020/09/30 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20202506440701	科目番号 / Course code	25064407
科目ナンバリングコード / Numbering code	DNMC 11031_098		
授業科目名 / Course title	細胞生物学入門 / Essential Cell Biology 2		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	伊藤 公成 / Kosei ITO, 片瀬 直樹 / Katase Naoki, 門脇 知子 / Kadowaki Tomoko, 坂井 詠子 / Sakai Eiko, 岡田 幸雄 / Okada Yukio		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	伊藤 公成 / Kosei ITO		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	伊藤 公成 / Kosei ITO, 片瀬 直樹 / Katase Naoki, 門脇 知子 / Kadowaki Tomoko, 坂井 詠子 / Sakai Eiko, 岡田 幸雄 / Okada Yukio		
科目分類 / Course Category	総合科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	伊藤 公成 / itok@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	A棟7階707号室		
担当教員TEL / Tel	095-819-7487 (内7487)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	12:00 ~ 13:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	歯科医学を学ぶ上で基本となる細胞生物学について理解する。		
授業到達目標 / Course goals	<p>一般目標GIO: 細胞生物学を中心に、大学で習得すべきライフサイエンスに関する基礎知識を身に付ける。</p> <p>個別行動目標SBOs:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞機能の基本を理解する。C-1-1), C-1-2), C-2-1), C-2-2), C-2-3), C-2-4) 2. 細胞構造の基本を理解する。C-2-1), C-2-2), C-2-4) 3. 組織、個体機能の基本を理解する。C-3-2), C-3-3), C-3-4), C-5-1), C-5-2), C-5-3), C-5-6) 4. 生命科学の解析法の基本を理解する。C-1-1), C-1-2), C-2-1), C-2-2) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験期間中に行う筆記試験の得点により評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>【予習】 授業予定内容である教科書 (Essential 細胞生物学) の該当部分 (各章の全体) をあらかじめ精読して、事前に授業内容を把握しておくこと。(2h)</p> <p>【復習】 教科書の該当部分の章末問題を各自で解き、授業内容に照らし合わせながら復習すること。(2h)</p>		
キーワード / Keywords	細胞、遺伝子、タンパク質		
教科書・教材・参考書 / Materials	Essential 細胞生物学 原書第4版、中村桂子、松原謙一 監訳 (南江堂)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、各授業の担当教員または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	教科書に沿って進められるので、必ず予習をしておくこと。また、質問等は講義終了後あるいは直接担当教員の部屋を訪ねてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
10/12, 10/19	膜の構造: 脂質二重層, 膜タンパク質 (11章)
9/28, 10/5	膜輸送: 搬体タンパク質とその機能, イオンチャンネルと膜電位, 神経細胞のイオンチャンネルとシグナル伝達 (12章)
10/26, 11/2	細胞が食物からエネルギーを得るしくみ: 生物におけるエネルギー獲得経路とは何か, またそれらは整然と制御されていることを学ぶ。(13章)
11/9	ミトコンドリアと葉緑体におけるエネルギー生産: 生物はどのようにしてエネルギー変換機構を獲得したのか。そのエネルギー獲得における膜の役割について学ぶ。(14章)
11/16, 11/30	細胞内区画と細胞内輸送: 細胞器官の機能とそれぞれの器官にタンパク質が輸送されていくしくみを学ぶ。(15章)
12/7, 12/14	細胞の情報伝達, 細胞骨格 (16, 17章)
12/21, 1/18	細胞周期と細胞分裂 (18章)
1/25, 1/26	がん化のメカニズムとがん遺伝子・がん抑制遺伝子について学ぶ。(20章)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2020/09/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20202506441601	科目番号 / Course code	25064416
科目ナンバリングコード / Numbering code	DNMC 22011_098		
授業科目名 / Course title	歯科学のための物理科学		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	角 美佐 / Sumi Misa, 村田 比呂司 / Hiroshi Murata, 古賀 義之 / Koga Yoshiyuki, 田代 茂樹 / Tashiro Shigeki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	角 美佐 / Sumi Misa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	角 美佐 / Sumi Misa, 村田 比呂司 / Hiroshi Murata, 古賀 義之 / Koga Yoshiyuki, 田代 茂樹 / Tashiro Shigeki		
科目分類 / Course Category	学部モジュール科目		
対象年次 / Intended year	2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	角 美佐 / misa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	頭頸部放射線学分野医局		
担当教員TEL / Tel	095-819-7709 (PHS 98912)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	質問等は、Eメールで。misa@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	歯科学 (歯科補綴学、歯科矯正学、歯科放射線学) を学ぶために必要な物理科学の講義を行い、歯科学における物理科学的な理解を深める。		
授業到達目標 / Course goals	<p>一般目標GIO:</p> <p>歯科学 (歯科補綴学、歯科矯正学、歯科放射線学) を学ぶために必要な物理科学の理解を深める。</p> <p>個別行動目標SBOs:</p> <p>磁気共鳴撮像法(MRI)の原理を説明できる。E-1-2)</p> <p>力学の基礎と歯科学への応用を説明できる。</p> <p>基礎放射線学や生物物理学の基礎を説明できる。C-1-2), E-1-2)</p> <p>レオロジーの基礎を説明できる。D-1、D-2</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	4名の担当教員が、授業中に実施する筆記試験や課題レポート等により、それぞれ25点満点で評価し、各教員の評価において15点以上を合格とする。4名の合計点 (100点満点) で最終評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: LACSにアップした資料、事前配布したハンドアウト、関連内容について、自身で収集した資料等で予習する。事前に専門用語や関係領域の予備知識を取得しておく必要がある。</p> <p>事後学習: 講義で学習した内容の要点をまとめる。また、理解できなかった箇所は、配布プリントや参考書等を使って明らかにするとともに、教員に質問し必ず解決すること。レポート課題があれば、速やかに対応すること。</p>		
キーワード / Keywords	磁気共鳴撮像法、力学、基礎放射線学、生物物理学、レオロジー		
教科書・教材・参考書 / Materials	教材としてプリント等を配付することがある。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	4名の各教員の講義を2回以上かつ全体の2/3以上出席しなければ、成績評価の対象とならない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、各授業の担当教員または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	教材として配付された資料がある場合は確実に予習・復習して授業と筆記試験に臨むこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	<ul style="list-style-type: none"> ・角 美佐(第1~4回)/長崎大学病院における画像診断業務/最も重要な画像診断モダリティであるMRIの原理を理解するために必要な磁気共鳴に関する講義 ・古賀 義之(第5~8回)/長崎大学病院における歯科矯正診療業務/歯科補綴学を学ぶ上で必要なレオロジーに関する講義 ・村田 比呂司(第11,12,15回)/長崎大学病院における歯科補綴診療業務/歯科矯正学を学ぶ上で必要な力学に関する講義
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
4/2	磁気共鳴撮像法(MRI)の原理(1) MRIの原理について講義する。
4/9	磁気共鳴撮像法(MRI)の原理(2) MRIの原理について講義するとともに、理解度を確認するための小テストを行う。
4/16	磁気共鳴撮像法(MRI)の原理(3) MRIの原理について講義するとともに、理解度を確認するための小テストを行う。
4/23	磁気共鳴撮像法(MRI)の原理(4) MRIの原理について講義するとともに、理解度を確認するための小テストを行う。
4/30	力学の基礎(1) 静力学について
5/7	力学の基礎(2) 運動力学について
5/14	力学の応用(1)
5/21	力学の応用(2) 小テスト
5/28	基礎放射線学, 生物物理学を中心とした講義, 演習(1) 歯科学, 生物学研究に必要な基礎的な物理科学についてLACSを用いて講義し, 理解度を確認するための小テストを行う。
6/4	基礎放射線学, 生物物理学を中心とした講義, 演習(2) 歯科学, 生物学研究に必要な基礎的な物理科学についてLACSを用いて講義し, 理解度を確認するための小テストを行う。レポート課題の提示を行う。
6/11	基礎放射線学, 生物物理学を中心とした講義, 演習(3) 歯科学, 生物学研究に必要な基礎的な物理科学についてLACSを用いて講義し, 理解度を確認するための計算問題テストを行う。レポートを提出。
6/18	基礎放射線学, 生物物理学を中心とした講義, 演習(4) 歯科学, 生物学研究に必要な基礎的な物理科学についてLACSを用いて講義し, 理解度を確認するための疑似国試問題テストを行う。
6/25	レオロジーの基礎(1) 弾性、粘性について 小テストを行う
7/2	レオロジーの基礎(2) 静的粘弾性について 小テストを行う
7/9	レオロジーの基礎(3) 動的粘弾性について 小テストを行う